

令和 7 年度宮古テレビケーブルテレビネットワーク耐災害性強化事業
(ACAS 設備) 入札仕様書

1 件名

令和 7 年度宮古テレビケーブルテレビネットワーク耐災害性強化事業 (ACAS 設備)

2 目的

宮古テレビ株式会社 (以下、「当社」という。) は、宮古地区のケーブルテレビネットワークの耐災害性強化及び高精細度映像の視聴環境の構築を目的とした各種設備工事を実施する。

本仕様書は、宮古島市広域情報センター局舎 (以下、「宮古局」という。) のセンター機器室に設置し、CS 放送の高精細度映像化および ACAS 対応を実施するための設備設置に関する仕様及び付帯業務について規定するものである。

3 業務範囲

(1) プロジェクト管理

ACAS 設備等の調達から設置を円滑に遂行するための進捗管理、コミュニケーション管理、品質管理及び安全管理を行う。

(2) ACAS設備等の調達、設置

ACAS 設備等の調達及び周辺機器を含めて据付に必要な一連の作業を実施する。設備の調達 (輸送を含む)、搬入、据付、配線、調整及び試験等の一切の作業を含むものとする。

整備する ACAS 設備等の詳細は、別紙「ACAS 設備等調達仕様」に示す。

(3) 完成図書の作成

本業務内で実施した内容及び指定された資料、図面等を添え、完成図書として提出すること。完成図書は、印刷物及び電子媒体で各 1 部を提出すること。

4 工期

契約締結の日から令和 8 年 3 月 31 日

5 納入場所

当社宮古局 3F センター機器室内の指定場所

6 契約不適合責任

(1) 受注者は、本仕様書に基づき納入した成果物 (以下、「本件成果物」という。) が、種類、品質 (性能を含む)、数量に関して契約の内容に適合しない場合 (以下、「契約不適合」という。)、契約不適合責任を負うものとする。

(2) 当社は、本件成果物の引き渡しを受けてから 1 年以内に、本件成果物に契約不適合が

あることを発見した場合、受注者に対し、追完（修補、代替物の引き渡し、不足分の引き渡しなど）を請求することができる。この場合、受注者は、当社の指定する期間内に速やかに自己の費用と責任において追完を行わなければならない。

但し、受注者が契約不適合を知りながら告げなかった場合は、この期間の適用はないものとする。

- （３）前項の追完請求にもかかわらず、受注者が相当の期間内に追完を行わない場合、または追完が不可能な場合、当社は、契約不適合の程度に応じた代金の減額を請求することができる。
- （４）当社は、本件成果物の契約不適合により損害を被った場合、受注者に対し、その損害の賠償を請求することができる。ただし、受注者の責めに帰することができない事由により契約不適合が生じた場合は、この限りではない。

7 受注者の義務

- （１）本仕様書及び当社の指示、指導に基づき業務を忠実かつ確実に履行すること。
- （２）本業務一切の重要性を十分理解し、安定した運用を維持継続するため、入札時に提示した ACAS 設備等を調達、設置すること。
- （３）調達した ACAS 設備等については、「5 納入場所」に示す場所において、本仕様書で定める機能を十分発揮するよう設置・調整を行うこと。
- （４）受注者は、業務上の知り得た情報を契約履行期間中か否かに関わらず、第三者に開示したり、漏えいしたりしてはならない。
- （５）本業務に先立ち、工程表を作成し、これら資料を基に発注者と協議のうえ、作業日程等を決定すること。また、当社と定期的に工程会議を実施し、その議事録を作成して提出すること。
- （６）本業務完了後においても、補助金の実績報告書作成等で当社が必要とする書類等の作成・提出を求められた場合は、速やかにそれに協力すること。

8 仕様書の解釈及び疑義

本仕様書の内容に疑義が生じたときには、入札参加者は入札説明書別記 3 の照会先に電話またはメールで確認すること。

別紙

ACAS 設備等調達仕様

1 調達設備

調達機器の明細及び数量については、積算数量表に基づくものとする。

2 基本仕様

- 新 4K 放送等高精細な映像コンテンツの限定受信方式及びコンテンツ保護方式に対応したシステムとする。
- プラットホーム事業者の ACAS 配信サービスの HOG 信号を IP 信号で受信し、多重、SI/EPG 生成、QAM 変調を施し RF 信号を出力する。

主な装置の仕様

(1) ダブルハブ 3U サブラック

- EIA3U/JIS3H 兼用のラックマウント構造とする。
- ACAS 装置ユニットを最大 11 ユニット実装できること。
- SFP ポートを装備した SW-HUB ユニットの 2 系統搭載すること。
(プラットホーム事業者から配信される HOG 信号を IP で入力できること。)
- SW-HUB ユニットと各 ACAS 装置ユニットとの接続は、サブラック内部で接続されること。(外部配線を不要とすること。)
- AC 電源ユニットは冗長構成とし、無停電で AC 電源ユニットの交換ができること。
- AC 電源ユニット、FAN ユニット、ACAS 装置ユニットを SNMP マネージャにより監視が可能なこと。

(2) 4K HEVC エンコーダーユニット

- 上記 (1) のサブラックに実装できること。
- 12G-SDI 入力部、エンコード部、ASI/IP 出力部で構成され、4K 映像の HEVC エンコードを可能とすること。
- BNC 型の入力端子を備え、12G-SDI (SMPTE 2082M) 信号を入力できること。
- 音声は、2ch ステレオの 1ES を出力することが可能なこと。
- ASI 出力および IP 出力に対応すること。
- TS 出力は、入力された映像信号及び音声信号によりエンコードされた MPEG-2 ト

ランスポートストリーム出力が可能なこと。

- IP 出力は、ASI 出力端子と同じ内容の MPEG-2 TS が重畳された IP パケットとする。
- SNMP マネージャによる監視が可能なこと。

(3) 2K HEVC エンコーダーユニット

- 上記(1)のサブラックに実装できること。
- SDI 入力部、エンコード部、ASI/IP 出力部で構成され、HEVC エンコードが可能なこと。
- BNC 型の入力端子を備え、HD-SDI (SMPTE 292M) 信号を入力できること。
- 音声は、映像用音声として最大 2ES まで出力が可能なこと。
- SDI に重畳されている放送字幕 (ARIB STD-B37) を出力することが可能なこと。
- ASI 出力および IP 出力に対応すること。
- TS 出力は、入力された映像信号及び音声信号によりエンコードされた MPEG-2 トランスポートストリーム出力が可能なこと。
- IP 出力は、ASI 出力端子と同じ内容の MPEG-2 TS が重畳された IP パケットとする。
- SNMP マネージャによる監視が可能なこと。

(4) 高度ケーブル自主放送用 SI/MUX QAM 変調ユニット

- 上記(1)のサブラックに実装できること。
- 高度ケーブル自主放送 (JLabs SPEC-035)、JC-HITS 運用 (JLabs SPEC-005) に対応していること。
- TS over IP 受信部、ASI 入力部、PSI/SI 生成部、TS 多重部、QAM 変調部が 1 ユニットの集約されていること。
- ASI 入力および IP 入力が可能なこと。
- ASI 入力は、MPEG-2 トランスポートストリームの入力が可能なこと。
- IP 入力は、シングルプログラムで構成された TS over IP パケットもしくは EMM や SI パケットが多重された TS over IP パケットの入力が可能なこと。
- ASI 入力、IP 入力および内部再生された最大 8 サービスおよび EMM ストリームに加え、PSI/SI を生成、多重し QAM 変調出力が可能なこと。
- RF 出力は、入力 TS および PSI/SI の多重化処理を行った、または SCRIN 入力端子に入力された MPEG-2 トランスポートストリームで、64QAM または 256QAM 変調を行った RF 信号であること。
- RF 出力チャンネルは、90~770MHz の任意の 1 チャンネル (アナログ配列、デジタル配列両方設定可能) とする。また、出力レベルは、90.0~111.0dBpV の範囲で 0.1dB ステップで調整が可能なこと。

- ログダウンロード TS 再生機能を内蔵していること。
- SNMP マネージャによる監視が可能なこと。

(5) 標準サーバー

- 1U ラックマウントサーバーとする。
- 上記(1)～(4)の設定、状態管理等を行う。
- 記録媒体は SSD とし、RAID1 構成（ホットスワップ対応）とする。また、SSD 交換はサーバー前面から交換可能とすること。
- 電源は冗長構成とし、後面から交換対応を可能とすること。

(6) EPG データ変換ソフト

- 上記(5)のサーバーで稼働するものであること。
- 番組情報ファイルは、各 EPG データ供給元の FTP サーバーから取得すること。
- 時刻指定（1日2回）により定期的な変換処理が可能なこと。
- EPG データ供給元のサーバー（読み込み用）を、短時間（5分程度）毎にポーリングを行い、自動で変換処理が可能なこと。
- 動作履歴や異常履歴のログを表示・保存することが可能であること。
- 当社の C-CAS 運用終了等により、既設 C-CAS 方式のシステムで運用している EPG システムを停止させた後も地デジ、BS、CS 放送の各 EPG 運用に問題が起きないよう調整すること。

3 設置作業

- (1) 指定された場所に各機器を設置すること。
- (2) 当面、C-CAS、ACAS のサイマル放送を実施するため、C-CAS 運用に影響がないよう考慮すること。
- (3) C-CAS 運用を停止する際、ACAS 運用（EPG 運用を含む）に支障が出ないよう支援すること。

4 完成図書作成

完成図書を作成し提出すること。

- 装置系統図
- 装置実装図
- 設備納入仕様書（機器仕様書、説明書等）
- 施工写真（総務省提出用）

- 試験成績表
- その他必要な書類

以上

